

- 各回、問いは同じで、下記の2つです。
 - 問1「何がどんな状態になれば、ハッピーですか？」(桃色付箋)
 - 問2「具体的に何をしたら良いと思いますか？」(水色付箋)
- カフェマスターは、グループファシリテータが務めました。



グループ討議とシール投票の様子

■□全体共有 20:25~20:45 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 各カフェでの議論をカフェマスターが紹介しました。
- 各参加者に「ふりかえりシート」を作成してもらいました。
- 各参加者による共感する意見に対するシール投票を行いました。

■□おわりに 20:45~20:50 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 最後にお礼の言葉を述べ、閉会の挨拶を行いました。

<基本目標①：若い世代の定住を促進する>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
人生の様々なステージに寄り添う支援	
子育てしやすい環境 ー子どもの保育・教育施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを安心して育てられる環境が大事。●● 交通の便がいいがゆえに、職場だけでなく、塾についても、名古屋市内のところに通わせる人もいるが、そもそも、<u>清須市内に通わせたいと思うところがあればいい。</u> 待機児童はいないが、今、ものすごく子どもが増えていて、0・1・2歳の乳児が入れない園もあるよう。 また、以前と比べて、園の職員の数も減らされてきている。保育園の運営自体も大変そう。<u>医療機関・保育機関ともに子どもを受け入れる環境づくりが必要。</u>
子育てを一体的に支援するセンターの充実	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心・安定・快適はまず当たり前● 安定・快適という意味では、<u>子育て・仕事・お金・生活・医療の支援をしてくれるセンターが市単位であるとよい。</u>●● ゆりかごから墓場まで、それぞれのライフステージに寄り添う体制があるとうい。
近い職場	<ul style="list-style-type: none"> 職場が、名古屋市でも、岐阜方面でも通いやすいが、<u>働く場所が近くにあるに越したことはない。</u>
介護と福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> 介護・福祉の面が充実してくるといい。周辺地域と比べても介護施設に入居できる人が地域ごとで異なるので、地域差を埋めることができるとよい。
市内外で比較して GOOD なところを伸ばす、広める	
清須の良いところ	<ul style="list-style-type: none"> 清須市ですずっと育ってきたので、<u>他県・市外から来た方が思う清須市のいいところを知りたい。</u> 清須市は便利。名古屋市と比べて、<u>静かで広場も活気があり困らない。</u> 他県と比べ、<u>医療費が中学生まで全額無料は有り難い。</u>気軽に医療機関に通うことができる。 清須市は、<u>家族・親族がみんな市内にいる人が多いのでは。</u> 名古屋など、周辺地域に頼りすぎているので、<u>清須市内で完結できる環境が揃うとよい。</u> 市の担当者が、<u>すばらしいと思う地域を視察する。その良いアイデア・事例を清須市に持ち帰り、導入する。</u>●●● 「都会に近くても川が流れていて、虫がいて、<u>ホッとする</u>」という声を聞いたことがある。

オープンでフラットな地域	<ul style="list-style-type: none"> 春日町は、人がとてもいい。フラットで兄弟のような関係性が築けている。子どもが異学年の子ども同士で遊んでいる。どの町にもこのような近所同士のつながりが生まれるとよいのでは。 オープンな自治会、オープンな行政を期待する。
若者や女性にとって魅力的なまちづくり	
夢が叶えられる環境	<ul style="list-style-type: none"> 若者が清須市で夢を叶えられる環境があれば良い。
美しい景観	<ul style="list-style-type: none"> 癒やしを感じられるような町並みや美しくデザインされた場所がほしい。例えば橋にしても機能性だけを優先するのではなく、<u>デザイナーが入って、建設がすすむとよい。</u> ●●●●● 森林浴や BBQ ができるような場所があるといい。このあたりだと、庄内緑地に行っている。
女性の活躍を応援する風土へ	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ地域に古くからの習慣が残り、長老のような、昔の世代の方が「若いものは黙れ、女は黙れ！」という雰囲気がある。 女性がいると場の雰囲気がよくなる。<u>女性がリーダーシップを取れるまち</u>になりそうな気がする。 また、女性が何か「やりたい！」と思ったら、応援隊がいて、旗を降ってくれると良い。例えば、<u>市役所に『男女共同参画課』が設置されるとよいのでは。</u>そして、<u>市が持っているネットワークを活用して、人と人をつなげる。</u>
SNS に取り上げられる場	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代たちから「清須市は何もないところ」「清須市に住んでいると言いたくない」と言われたいよう、<u>SNS 映えするような場</u>がほしい。例えば、<u>オシャレなお店やイルミネーション。</u>
清洲城で音楽ライブ	<ul style="list-style-type: none"> サブカルが好きだったので、<u>野外ライブ</u>を清須市でやってみる。例えば、<u>清洲城でも開催</u>してみてもいいのでは。
イベントの情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 若者から高齢者まで、誰でも平等に情報が共有されるといい。若者であれば、SNS、高齢者だと、人伝や広報誌から情報を得るだろう。<u>両極で、情報を発信・共有するシステムが必要。</u> ●●●
災害に対する安全・安心	
東海豪雨の恐ろしさを伝える	<ul style="list-style-type: none"> 再来年、東海豪雨から 20 年が経過する。経験者としたら、このあたりならば、床上浸水するであろうことがわかる。それなのに、若い世代の住まいが増えていることが心配。経験していない世代に、<u>東海豪雨の恐ろしさを伝え、このまちに対する危機感を持ってもらうためにも“東海豪雨記念館”を設立する</u>といいのではないかと。 ●●●
防災・減災の取組	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震が起きたら液状化が心配。 新川の洗堰に新川導水路をつくる。 災害対策 ●●
災害時の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> この地域は CATV がふたつに分かれてしまっているので、統一したものとして <u>コミュニティ FM</u> をつくる。それが災害のときにも役に立つ。稲沢市、北名古屋市とも協力して運営する。 ●●●●●

【若い世代の定住を促進するためには、市民目線で何が大切か？】

- ①人生の様々なステージに寄り添う支援
- ②市内外で比較してGOODなところを伸ばす、広める
- ③若者や女性にとって魅力的なまちづくり
- ④災害に対する安全・安心

<基本目標②：地域の稼ぐ力を高める>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
稼ぐかって何？	
市の財政が潤う	<ul style="list-style-type: none"> • 市の財政がアップするというイメージ。 • 企業の収益が順調にアップすること。● • 個人の所得がアップすること。 • 個人事業主の方が直で増収になる。 • 企業と個人とダブルで攻める。●
連携で無駄遣いをなくし経費減で稼ぐ●	<ul style="list-style-type: none"> • 費用（元手）をかけずに、今あるもので儲ける。中国転勤時に学んだこと。●● → 行政で言えば課ごとに似たようなことをやっている点、地域で言うと観光協会と商工会など、もっと連携することで無駄遣いが減らせる。
潤ってどうなりたいの？	<ul style="list-style-type: none"> • 稼ぐ力という潤うってことだと思うが、でも潤ってどうなりたいの？ということも大事では？
エリアを活かしたスポットづくり●～清須で休日を！でPR～●●●	
都会的エリアの活かし方	<ul style="list-style-type: none"> • 都会的エリアは名古屋に任せるという手もある。 • 枇杷島の路地裏が活性化するといい（これは今すぐ手がつけられるのでは？）。 → 枇杷島に一宮のような展望台をつくり、名古屋を一望できるナイトスポットにする。
歴史エリアの活かし方	<ul style="list-style-type: none"> • 清洲城がもっと有名になるといい。 → 名古屋城と連携してアピールする。 • 清洲城周辺が犬山城の城下町のような観光スポットになる。 → 歩く道が楽しくなるしかけがあるといい。 → 各駅前の商業開発（小さなお店がたくさんできる） → おかげ横丁のような場をつくる。 • 清須に市外の人がたくさん来て買い物や観光をしてくれたらいい。 → 市に今ある観光地、商店、飲食店をつなぐ（例えばバスやレンタサイクル）。

	<ul style="list-style-type: none"> • 清洲城を活用する目的が観光以外にも広がるとよいのでは？ <ul style="list-style-type: none"> → 日吉神社で神前式をした後に、清洲城で姫&殿の姿になって披露宴をする。 • 観光客が一泊できるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → ゲストハウス（空き家利用）整備。例えば美濃路ネットワークで。 → 清須市でB&B登録をしている人（宿）がでてくる。
農業エリアの活かし方	<ul style="list-style-type: none"> • 春日を農業エリアとして活かせるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → 農業体験の実施（宮重大根、枝豆、ニンジン等）。
観光への課題意識として	<ul style="list-style-type: none"> • 清須がもっと注目されるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → インパクトが強くなるにはどうしたらいいか？ • 歴史的資料がもっと発掘できるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → 江戸以降の資料しか発掘できない現状をどうしたらいいか。 • 美濃路、朝日貝塚、城エリアを充実させるといい。●●●● <ul style="list-style-type: none"> → 歴史軸を活かすには？流れをどうつくるか？ • お客さんがたくさん来て、小さな店が活性化するといい。 <ul style="list-style-type: none"> → レンタサイクルが各駅にあると遊ぶ場がつながる。 → 春と秋にしかない新清洲駅のレンタサイクルを年間にするといい。 → あしがるバス&レンタサイクルで店に来られるようにしてほしい。 • 内部で稼ぐなら観光しかない！ <ul style="list-style-type: none"> → 企業誘致と観光推進とは相いれないのではないかと？
地域内での循環づくり～行政マンの居住地は？～	
地域で循環する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 市民が市内だけで消費活動全てが済んでしまえばOK（市内で稼ぎ市内で消費）。 <ul style="list-style-type: none"> → エコマネーの開発（河川環境ボランティアと商工会の協力）地域通貨を使えるようにする。 → 「子どもが地域でお金が巡る」を体感できる仕組みづくりをする。
市の職員に市民になってもらう●	<ul style="list-style-type: none"> • 市職員の清須市への思い入れがさらにアップするといい。 <ul style="list-style-type: none"> → 市職員の市在住率が今よりも高くなる。
企業誘致と働きやすい環境づくり	
企業誘致のためのハード整備	<ul style="list-style-type: none"> • 企業誘致できるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → 上下水道を整備する。 • 物流ターミナルができるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → キリンビール付近で鉄道、貨物、トラック、車の物流ターミナルを整備する。
既存の企業へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> • 地元企業の発展を後押しできるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → 地元有力企業、工場を横断的に結ぶサミットを定期的開催。●

企業誘致の周辺整備	<ul style="list-style-type: none"> • 企業の社宅を誘致。● <ul style="list-style-type: none"> → 一か所に大きな社宅をつくるのではなく、市内にまんべんなくばらけるように設置。それによって保育所の待機児童などもなくせるといい。
人材のネットワーク整備	<ul style="list-style-type: none"> • 清須で働けるなら働きたいと思っている人が情報をキャッチしやすくしてほしい。(市がやってくれると安心でもある) ●● <ul style="list-style-type: none"> → 清須の人材バンク(ハローワーク)のようなもので、市が情報を把握し、働き手の人手があることをPRする。●●● → このシステムを稼働させるには「広報」だけでは難しいのでアプリなどを利用する。 → 現にある「清須子育てアプリ」を活用して、求人欄を設ける。季節によって人材が必要な現場での急募等に活用されるのもいい。また、口コミなどで市外に派生してもいい。● • ファミリサポートセンターがもっと周知されるといい。 <ul style="list-style-type: none"> → 周知したいが人手不足があり、あまりニーズが多くても対応できないので人手確保が必要。 → 30分350円という受益者負担をなくそうという動きがあるが、むしろそこはなくさずに、市にさらに350円を上乗せ補助してもらい成り手を増やす方がいい。

【地域の稼ぐ力を高めるためには、市民目線で何が大切か？】

- 財政が潤ってその先にどうありたいかを見据えつつ、元手をかけない運営で、個人も企業も双方が稼げるアプローチをすることが大切。
- エリアを活かしたスポットづくりで効率的に開発をし、清須の魅力の特化していくことが大切。
- 地域内循環の可能性も視野に入れつつアプローチすることが大切。
- 既存企業間の交流や市内の人材バンクの充実化により、清須の働き手PRに注力することで、結果的に優良企業を集約することが大切。

<基本目標③：地域資源をネットワーク化して活用する>

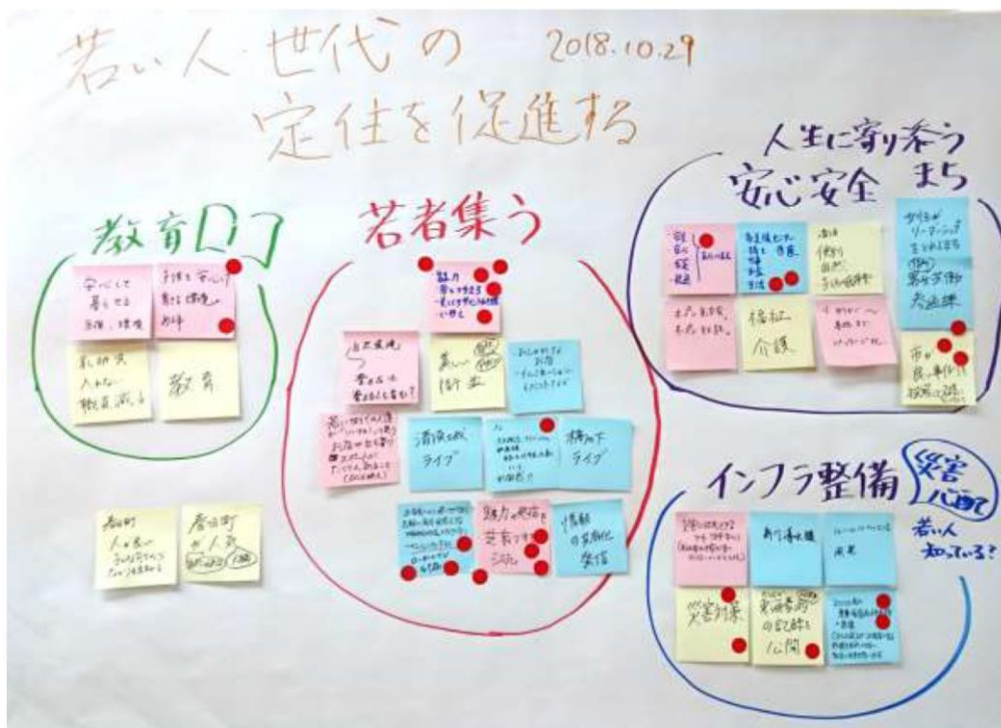
タイトル(キーワード)	参加者の発言
清須の地域資源をつなぎ、新たな価値を生み出す	
<p>農地と高齢者と空き屋をつなげる。●●</p> <p>以下の効果が期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①農地転用を防ぐ ②農産物の生産 ③土地の保水力維持 ④高齢者の生きがい ⑤近所で買い物ができる 	<ul style="list-style-type: none"> • この地域は濃尾平野の肥沃で水はけの良い畑作(野菜や花卉の生産)ができる土地である。それを利用しない手はない。しかし、このままだと良質な農地が産業廃棄物の処理施設、駐車場に変わり虫食い状態になる。優良な農地からそうでない雑種地に順次変わっている。 • 総合計画の中にてしているが、清須市が農業法人を支援したり、お遊びのような小規模な農園を上手に使うと良いと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的には、リタイヤした方に1区画あたり1アール(30~50平米)を貸すことを、JAと一緒に農業支援センターをつくり、周りの農地を5~10haレベルで活用すると、生産放棄地が無くなり、畑が荒れなくなる。産業廃棄物処理施設が入り込みにくくなる。 • <u>農業委員会の公表されている資料によると、毎月農地が転用されてしまっている。</u>年間10ヘクタールという単位で何かができ、その度に田んぼが埋められてしまう。この地帯は、口の開いた輪中地帯になっている。上から水が入ると溜まってしまう。1haで1万立米の保水力が無くなる。その意味でも農業を支援することが大事だと思う。 • <u>リタイヤした方に農業をお願いすることで、生産力を高めることができる。</u>南部の方は、高齢者にとって買い物がしやすい地域でなくなりつつある。<u>空き店舗に小さな販売場を作ってはどうか。</u>
<p>住民と地域のお店をつないで、市内でお金の流れをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 清須の人達は、日用品などの買い物は市内でできるが、ファッションや大きなものを買うときには名古屋市に出かける。 • <u>日用品以外もある程度のものは市内で賄える商業力をつけたい。</u> • 清須市の人達が、<u>お金を市外に出すのではなく市内で循環できるようにする形が求められる。</u> • 清須の人が、清須でお買い物をするとか、生活の基盤を清須にもっていないと、よその人は清須に魅力を感じないのではないか。
<p>地域資源(伝統野菜など)を地域の商売につなげて流通させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保存会の方が、高齢化が進んでいるが、<u>伝統野菜を作っている。</u> • 春日の小学校では<u>宮重大根</u>を作っていたり、商売で使っていると知っているが、多くの清須市民はいくつかある伝統野菜を知らない。 • <u>市外の人が興味をもっても、どこで売っているかわからない。市民も知らない、市民以外の人も知らない。誰も知らない。</u> • 知ることができれば、清須にある伝統野菜を市内でもっと流通できるようになるのではないか。 • 和菓子職人の技術も、市外からは問合せがあるが、市内からはない。 • 地域資源が知られておらず、<u>機会損失となっている状況は、他のものや人材でも沢山あると思われる。</u> • <u>市民の良いものを掘り起こし、知らせること。</u> • 地域資源を知っていれば、例えば、<u>商品のネーミングにも使えるかも。</u> • お店の商品展示に使う文字も、書家の人がいいて書いてもらえるのであれば、折角なら清須の書家に書いてもらいたいが、知らない。
<p>市レベルで地域資源の情報をつなげる</p>	
<p>市レベルで、地域資源の情報発信力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>市や県が情報を集めて、地域資源をアピールしてほしい。</u> • 例えば、愛知県が防災拠点であることの認定を出すように、<u>清須市が認定を出すという方法もある。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> • ふと目に入るように、店に看板を掲げられるようにすること。 • 市の各部課でもっと自由にツイッターへの情報発信を促進させる。セキュリティの問題があるのであれば、本庁から切り離れたところで実施すればよい。 • 個人情報保護は大事だが、情報発信を阻害もしている。
市レベルで、地域資源の情報収集力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> • 市長への表敬訪問は、どうしたら実現するのか。一市民、一企業として、誰に何を情報発信したらよいのかがわからない。
市が情報発信をすることの善し悪し	<ul style="list-style-type: none"> • <u>情報は一元化し、能力ある人間が情報を出す／出さないを判断する方法がよい。</u>市が担うことが望ましいが、力を持ちすぎてもいけない。 • 情報を活用したいという企業が清須市にくるかもしれない。ネット社会のため、地縁関係者はすっとばされるかもしれない。 • 市管理のフェイスブック等の SNS で、誰でも投稿できるようにするのは、炎上し、責任を問われかねないので止めた方がよい。<u>デリケートなところなので、発信は市がした方がよい。</u> • 市民レベルでモンスター市民を防御してあげないといけない。 • 市役所内で情報の一元化はできていないのではないかと。人も予算も削られて困っている。
地域資源の情報発信も人づくりからはじめる	
情報発信力をつける！● ー地域資源の情報発信をする人材の養成	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク化をした方が良いものは沢山ある。できないのは、<u>旗振り役がないため。いきなり市民ができないので、最初は市にやってほしい。つなげたら、だんだんフォローにまわってもらえるとよい。</u> • 長い目でみると、<u>地域で情報のマネジメントができる人を育てて行かなくてはいけない。</u>それも、はじめは市にやってほしい。 • 他市で実績のある優秀な人に相談したり、引っ張ってきた方がいい。 • 甲冑を自分達で作り、各所で清須市を PR しているグループがある。はじめは誰も作れなかったが、<u>市がお金を出して甲冑師を呼び3年間勉強した。</u>試着体験もしている。はじめは市にリードしてほしい。 • 新しいスポーツを普及するのに、スポーツ課で指導者を呼んで体育館を提供したりしている。全国大会もある。春日はスポーツがないので、スポーツ吹き矢の講座をしたら、今春日で吹き矢がブームになっている。スポーツ課主催なら教室は無料、健康増進効果が得られる。 • 情報発信リーダー養成講座、YouTuber 養成講座などは具体策としてあり得る。「清須市の魅力を発信しよう」というような観光か何かのテーマで<u>情報発信講座を開催する。</u> • 情報発信養成講座は、参加しない、関心の無い、なるべく関わりたくない人が多いのでは。若い子は、「インスタ映えする撮影の仕方」とか、「有名な YouTuber が来て上手な動画の作り方」を教えてくれるなら、くると思う。

<p>人の核づくり ●●</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>地域の資源がまだ引っ張り出されていない。一人ひとり、このメンバーのように良い意見をもっている。それがつながらない。</u> • 自主防災の取り組みは、地域で広まりを見せている。最初は、区長から「あなたやって下さい」と依頼された。そこから、集まった人が勉強して試行錯誤をしている。ハザードマップを作ろうとなり、字の単位で、声かけや地図づくりをして、後は地区の方で盛り上がってください、という流れだった。まずは、<u>核になる人</u>にお願いします。 • <u>いろいろな良い意見をもっている</u>ので、<u>その人同士が結びつく。核になるひとがまとめていくのが理想。</u>
<p>企業同士、市民と行政、市役所の各課、市民と議会がつながる</p>	
<p>市民と市議会がつながるーリーダーがリードする ●</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 市議会がリーダーとしてリードする。市議会のレベルが愛知県中で極めて低い。 • 市議会での議論についての情報発信は、TV、オンライン配信、コミュニティ FM などライブでできる。スマホで聞ける。それをやれば、市議会議員さんの発言や議論内容を市民が聞くことができる。行政の回答も分かる。開かれた市議会にするには、一般質問は2日しかないが、市民が身近に聞けることが大事。今、何が課題かも分かる。 • TV だとお金がかかるが、議会は音声を記録している。そのままラジオで聞ければ公聴に行かなくてもいい。ラジコでは1週間分聞ける。 • YouTube を使えば、<u>無料で市議会のライブ中継を実施できる。</u>
<p>市民一人ひとりと行政がつながる！</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>いろんな分野に市民全体が関与できる体制。</u> ● • <u>市民が分野、施策、業務、資源など何らかの形で、市と結びついていることが望ましい。</u>
<p>市役所の各課がつながる。 ●●●●</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>行政の担当課だけで解決できる問題ではなくなっている。</u> • <u>清須市の各課がつながりフットワーク、チームワークが必要。</u> ●●
<p>小さな会社同士をつなげる。 ●</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>昔、トヨタの子会社ができるくらい工業化のネットワークができていた。</u>それが大企業になって、本社が移転をしていった。 • <u>もう一度、小さい100平米くらいの工場が5つ、6つ集まる長屋みたいなものをつくってみてもおもしろいのではないか。</u> <u>新しい製品の開発につながるかもしれない。</u> • <u>競争力に関わるため情報共有の難しさはあるが、営業、資金に関係しない地域資源についてであれば、共有できる情報はたくさんある。</u>
<p>つながるためのツールを用意して使いこなす</p>	
<p>オンラインツール (SNS、アプリ、端末)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>何か検索したら、清須市の情報が上位の結果にでてくると良い。</u> • <u>分からないことがあると、YouTube で調べる。容易にアクセスできる。距離感も近くなる。活字よりも動画で見た方がわかる。</u> • <u>市から見ると SNS は関わりづらいのではないか。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> • 市民レベルでも情報を出すのは恐い。しかし、使ってみると簡単。FBはやめたが、YouTubeは観る。 • 清須市のことを発信してくれるのは、外から来てくれた人。 • 観光者向けに駅に端末を置いてはどうか。 • 清須市の情報発信を行うアプリをつくる。●●
<p>オフラインツール (リアルにつながる場としての公民館、集会所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 市民が利用できる集会スペースが、清須市に均等に設置されていない。無い地域は、公民館・集会所のような地域の公共的なスペースが必要。 • 春日は字があり、各字に公会堂がある。お宮があったので社務所を利用している。
<p>【地域資源をネットワーク化して活用するためには、市民目線で何が大切か？】</p> <p>①清須の地域資源をつなぎ、新たな価値を生み出す</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農地と高齢者と空き屋をつないで、駐車場等への農地転用を防ぎ、少量であっても農産物を生産し、土地の保水力を維持し、高齢者の生きがいを創出し、近所で買い物ができるようにする。 • 住民と地域のお店をつないで、市内でお金の流れをつくる。 • 地域資源（伝統野菜など）を地域の商売につなげて流通させる。 <p>②市レベルで地域資源の情報をつなげる</p> <p>③地域資源の情報発信も人づくりからはじめる</p> <p>④市民と議会、市民と行政、市役所の各課、企業同士がつながる</p> <p>⑤つながるためのツールを用意して使いこなす</p>	



【基本目標①：若い世代の定住を促進する】カフェの模造紙



【基本目標②：地域の稼ぐ力を高める】カフェの模造紙



【基本目標③：地域資源をネットワーク化して活用する】カフェの模造紙

1. 本日の議論を通じて改めて感じたこと、言い残したこと等がございましたらお書きください。

- 清須というマチへの想いが皆深いのだと改めて感じました。
- 市にはいろんな資源（魅力）があるな・・・と感じた。
- 前回よりもリラックスして議論できたと思います。行政のことを深く理解するとより良い場になると思いました。
- 改めて、自分は清須が好きだと感じました。清須が今より魅力ある市になってくれたら本当に嬉しいと思います。
- 改めて議論を通し、自分が暮らす街をすばらしくする為に夢を持って語り合うことは楽しくすばらしいことであると感じました。本日语り合った事柄が実現するのを楽しみにしています。
- こころの中に皆さん沢山フツフツしたことがあることを感じた。地元のお友達の意見も持ち込んたりできてもいいなと思いました。家の中にいるとやっぱり思うことがたくさんある。外に出て働くようになるとまた別の思いが生まれる。
- 今日の内容はとても楽しかったです。
清須市民が清須を大好きになり、それが源になり、稼ぐ力、定住とつながるのではないかと思います。幼少期から清須の情報を教えていくことも大切だと思います。
- 勉強になります。日常に追われるばかりで考える機会が少ないので場をありがたく楽しませていただきました。
- 会議の見本のような会議でした。

2. 本日の満足度を100点満点で表現すると何点ですか。その理由や改善点もお書きください。

(1) ご自分（個人）に対して

- 100点
- 95点
- 85点 参加の女性が明るくて元気に提案されていて好感持てました。
- 70点 ぼんやりとした希望やビジョンはあっても具体的に何かアイデアがない。また最初からできないかもと思ってしまう面もあった。
- 70点 全体の流れにそって意見が言えた。
- 70点
- 50点 皆さんのような意見がなかなか出なかった。
- 50点 遅刻参加で慌ただしく流されたところもある。
- 50点 うまく話をまとめることができずすみませんでした。
- 50点 タイトルから目標・目的を理解出来なかった。
- 50点

(2) グループ・全体に対して

- 100点 思いつきで言葉にしたものに具体的な肉付けをたくさんしてもらってよかった。

- 100点 目がきらきらしてしまう、良い、楽しい意見・話が聞けた。
- 95点
- 90点 いろんな意見を聞いてとてもよかったです。
- 85点
- 80点
- 80点
- 70点 幅の広いご意見が聞けた。
- 70点 皆さん意見活発でした。
- 70点
- 50点

(3) ファシリテーター・事務局に対して

- 100点 話がはずむようになって話しやすかった。
- 100点 ステキ♡
- 100点
- 90点 うまくまとめられていますが何分時間が足りない。思いつきから新しい発想まではもう少し時間が必要です。
- 90点 どうしたら清須がもっと住みやすい町になるのかをとっても考えてくださるのがわかった。
- 90点 的確にリードして頂けた。
- 80点 前回よりも良くリードして頂けたと思います。ご苦労様でした。
- 80点
- 80点
- 70点 議題によっては、もう少し臨機応変に皆さんの意見を活かす、さらに引き出すすめ方もあったのでは、と思いました。

3. その他、ご意見、ご感想等ご自由にお書きください。

- 通算3回ではなく5回位が・・・
- 抽象的ですみません。清須市 Fight!
- 本日はしっかりと参加できず、申し訳ありませんでした。非常に良い会の運営をありがとうございました。
- ありがとうございました。